

# 調布市中心市街地公共サイン整備計画

調布駅 / 第1期

平成30年3月

調布市

## 目次

第1章 計画の目的	
1. 目的	1
2. 計画の位置づけ	2
第2章 サイン整備の対象範囲と整備期間	
1. 対象範囲	3
2. 整備期間	4
第3章 サイン整備の基本的な考え方	
1. 基本的な考え方	5
2. サインの種類	5
3. 基本的事項	6
第4章 個別基準	
1. 案内サイン	7
① 案内図の種類と縮尺	7
② 掲載する情報と内容	7
③ レイアウト	10
④ 形状	11
2. 誘導サイン	13
① 誘導サインの種類	13
② 掲載する情報と内容	14
③ レイアウト	15
④ 形状	16
第5章 配置計画	
1. 配置の考え方	17
2. 配置計画	17
第6章 今後に向けて	
1. 整備の進め方	24

# 第1章 計画の目的

## 1. 目的

調布市では、「調布市バリアフリー基本構想（平成24年3月）」に基づき、だれにもわかりやすい公共サインの整備を推進するため、統一的な考え方に基づく公共サインに係る基本的な考え方を定めた「調布市公共サイン整備方針（平成24年3月）」を策定しました。その後、「調布市公共サイン整備方針」に基づき、スポーツ祭東京2013のメイン会場となった味の素スタジアム周辺の飛田給駅周辺地区において、「調布市飛田給駅周辺地区公共サイン整備計画（平成24年4月）」を策定し、公共サインの整備を実施しました。

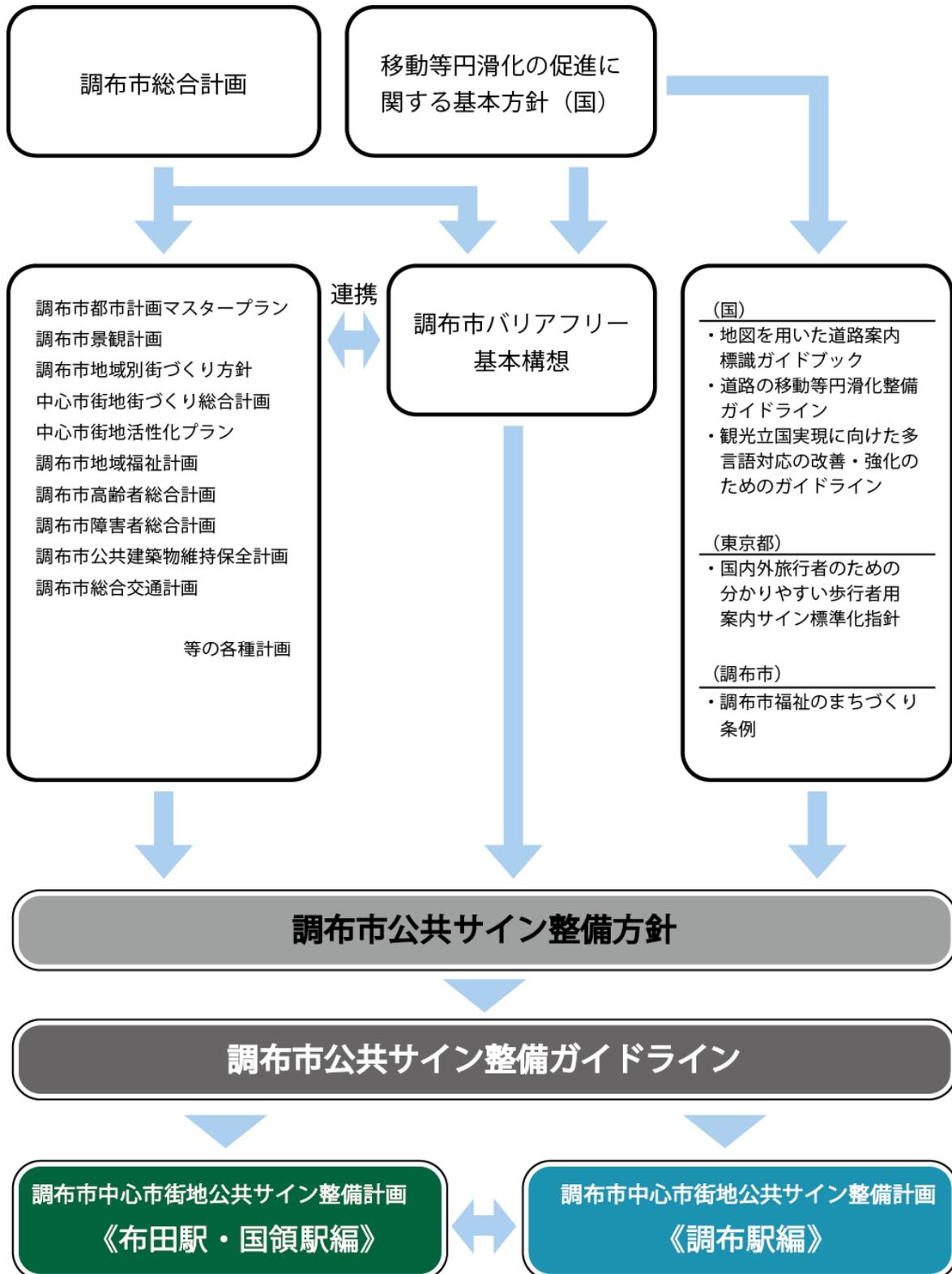
また、調布市の観光拠点の1つである深大寺地区において、地区の良好な街並みの景観維持・継承を目的とした「調布市深大寺地区公共サイン整備計画（平成25年10月）」を策定し、地区内における回遊性の向上等を目的とした公共サインの整備を実施しました。

平成26年度には、これまでの飛田給駅周辺地区及び深大寺地区における公共サインの整備を踏まえ、調布らしい魅力ある景観形成に向けた取組への配慮をしつつ、誰にもわかりやすく、安心・安全に使い、統一感のある公共サイン整備を推進していくため、調布市公共サイン整備方針の内容をより具体化し補足した「調布市公共サイン整備ガイドライン（平成27年3月）」を策定しました。

一方で「調布市バリアフリー基本構想」の重点整備地区に位置付けている「調布駅・布田駅・国領駅」の3駅を中心とした中心市街地エリアでは、平成28年3月に「調布市中心市街地公共サイン整備計画（布田駅・国領駅編）」を策定し、その整備計画を基に、平成29年3月に布田駅・国領駅の各駅前広場に案内及び誘導サインを設置する予定です。

また、調布駅周辺においては、駅前広場整備と連携を図るとともに、平成31年9月に開催されるラグビーワールドカップ2019、平成32年7月に開催される2020東京オリンピック・パラリンピックを見据えた公共サインを整備する必要があることから、このたび「調布市中心市街地公共サイン整備計画（調布駅編）／第1期」を策定し、調布駅を中心とした公共空間における公共サイン整備を駅前広場整備の進捗状況に併せて段階的に整備推進していく予定です。

## 2. 計画の位置づけ



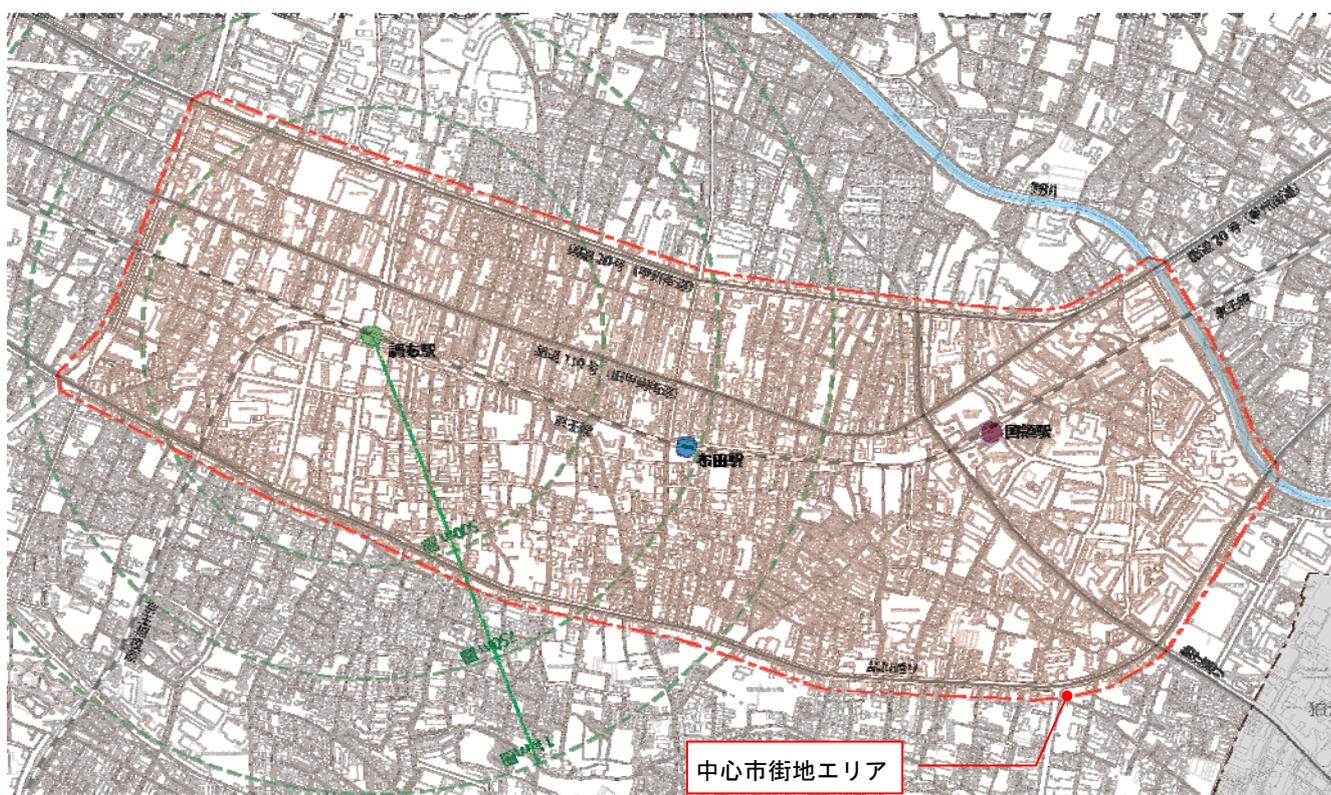
## 第2章 サイン整備の対象範囲と整備期間

### 1. 対象範囲

本整備計画では、調布市の拠点として位置付けている調布駅、布田駅、国領駅を含む中心市街地エリアのうち調布駅を起点とした徒歩圏内のエリアを対象範囲とします。

調布周辺地区	調布駅を起点に約 500m程度の範囲
--------	--------------------

#### ■対象範囲エリア



※「この地形図は、ミッドマップ東京の東京都縮尺 1/2,500 地形図（平成 27 年度版）を使用して作成したものです（承認番号：MMT利許第 27052 号-89）。無断複製を禁じます。」

## 2. 整備期間

本整備計画の整備期間は、2019ラグビーワールドカップ（以下、「2019RWC」という。）及び2020東京オリンピック・パラリンピック（以下、「東京2020大会」という。）までの整備を目標とする『第1期』、調布駅前広場の整備完了時を目標とする『第2期』と定め、整備を進めます。

### 第1期

本整備計画をもとに2019RWC及び東京2020大会までに必要となる公共サイン整備を進めます。

### 第2期

第1期及び調布駅前広場の整備状況をはじめ、社会情勢等の変化にあわせた整備計画の見直し等を踏まえ、公共サイン整備を推進します。

	平成29年 (2017年)	平成30年 (2018年)	平成31年 (2019年)	平成32年 (2020年)	平成33年 (2021年)	平成34年 (2022年)	平成35年 (2023年)
第1期	公共サイン整備						
第2期				整備計画の見直しおよび公共サイン整備			
関連事項	第1期整備案作成	調布駅編運用開始	2019RWC開催	東京2020大会開催			調布駅前広場整備完了予定

### 第3章 サイン整備の基本的な考え方

#### 1. 基本的な考え方

「調布市中心市街地公共サイン整備計画（調布駅編）／第1期」（以下、「第1期整備計画（調布駅編）」という）では、駅前広場及び周辺の街並み整備、社会状況の変化に伴う市民及び来訪者の利用目的の変化に対応するとともに、「調布市公共サイン整備ガイドライン」で掲げられた5つの基本方針に基づき、ユニバーサルデザインや安全性に十分配慮しつつ、調布市の顔となる中心的なエリアでの公共空間における良好な景観形成に寄与するとともに、社会情勢の変化に対応した公共サイン整備を行っていきます。

実際の整備にあたっては、市内における公共サインの統一性を確保していくため、「調布市公共サイン整備ガイドライン」の内容に準拠し、案内サイン地図面に掲載する公共施設名称等の表記方法と公共サイン整備後の維持管理体制について、公共施設管理者及び道路管理者との調整の上、公共サインの整備を順次進めていきます。

#### 2. サインの種類

「第1期整備計画（調布駅編）」では、次に示す公共サインについて方向性を定め、整備を行います。

種類	機能	該当例	設置想定箇所
案内サイン 	施設全体を示し、現在位置との相互関係を示す。 施設の全体像を知る。	エリアマップ	駅前広場、大きな交差点等
誘導サイン 	名称、矢印、ピクトグラム、距離の表記を用いて、利用者を目的の場所まで導く。	施設誘導	交差点、分岐点等

### 3. 基本的事項

公共サインの基本的な整備基準については、「調布市公共サイン整備ガイドライン」の内容に準拠します。また、「調布市中心市街地公共サイン整備計画・第1期（調布駅編）」において新たに追加された事項については、次のとおり設定します。

ガイドライン項目		追加事項	ガイドライン 掲載頁
設置基準	サインの配置・ 設置方法	調布駅周辺地区では、各駅を行動起点としたうえで終点となる誘導施設を特定し、その間の要所にサインを順次配置していきます。	P10~12
	サインの設置 高さ大きさ	対象サイン外のものを含めた複数のサインが同一の場所に設置される場合は、統一感のある設置高さ及び大きさとしします。(例：駅前広場などの多機能のサインが設置される場所など)	P13
表示基準	ピクトグラム と 各種デザイン	<p>地域特性及びJ I S規格等の改定や変更に応じ、追加で使用する ことも可能とします。</p> <p>上段左より 深大寺／京王線路線マークと駅ナンバリング／市章 ※路線マーク等については、鉄道事業者と事前調整が必要</p>  <p>※国内外旅行者のためのわかりやすい案内サイン標準化指針歩行者編／東京都／平成27年2月</p> <p>J I S規格化された標準案内図記号については、訪日客の増加やユニバーサルデザイン等の対応を含め改訂も想定されるため、それらに対応していきます。</p> <p>寺社仏閣の地図記号を踏まえたピクトグラムについては、原則、 使用しない。ただし、観光拠点として独自作成したピクトグラム がある場合については検討の上判断します。</p>	P14~16
	書体	視認性等を重視し、和文字については「UD新ゴシック体」、英文字については「ヘルベチカ」を基本とします。	P17~18
	文字の大きさ	—	P19
	色彩	<p>サインの盤面については、市役所周辺や近隣の観光名所である深大寺周辺の既存サインが、茶系の色彩を使用していることから、それらとの連続性を意識し、周囲の景観からも突出しない落ち着いたある「茶系」(マンセル値：5 Y R 3 / 1)の色彩を基本とします。※必要に応じて第2期整備の際に見直しを行います。</p> 	P20~21
	表記方法	多言語表記については、原則、日本語と英語の2言語とします。また、日本語については、情報量及び表示面の煩雑さを考慮してルビは表示しない。	P22~23
その他	案内や誘導を含む複数の情報を同位置で提供する場合においては、設置場所の状況や各種条例等を踏まえつつ、多様な機能を有するデジタルサイネージ等の活用の可能性について検討します。	—	

## 第4章 個別基準

案内サイン及び誘導サインの基準については、「調布市公共サイン整備ガイドライン」の内容に準拠します。「第1期整備計画（調布駅編）」で新たに定めた事項については、次のとおり設定します。

### 1. 案内サイン

#### ①案内図の種類と縮尺

- ・周辺施設の立地状況及び市民や来訪者の利用目的等を踏まえ、地域情報と周辺施設情報の把握を支援する「周辺案内」とあわせて、市の中心部でもありターミナル駅としての役割を持つことから、市街地の状況や市内の主要な施設情報を把握するための手がかりとなる「広域案内」を採用します。

種類	利用目的	主な掲載情報	縮尺	地図の向き
広域案内	市街地の状況が把握でき、現在地及び目的地の位置関係、並びに目的地までの具体的な手がかりを表示	・市街地の中で優先度の高い施設を掲載 ・鉄道、主要道路及びバス路線等の表示	1/2,500 ～1/3,500程度 →3～4km 四方程度の範囲を表示	北を上
周辺案内	現在地周辺の地域情報と周辺の施設情報の把握を支援	・移動範囲内における地域情報を掲載 ・鉄道、主要道路及びバス路線等の表示	1/1,000程度 →1km 四方程度の歩行範囲を表示	前方を上

#### ②掲載する情報と内容

- ・案内図の地図面に表記する施設名称等については、他のサイン及び調布市が発行している地図等の統一を図り、同様の名称を使用するものとします。
- ・案内図の地図面の施設名称等の文字表記については、中心市街地の特性上、一つの建物内に複数の施設が集中していることが考えられるため、日本語、英語の2言語とし、日本語のルビは表記しません。ただし、鉄道駅や市役所、主要な観光施設等の多くの利用者が予想される施設については地図面の煩雑さを踏まえつつ、必要に応じて中国語（簡体字）、ハングルを加えて4言語で表記します。
- ・案内図の地図面に掲載する情報については、「1-2 表示内容の基本ルール／調布市公共サイン整備ガイドライン（P9 参照）」の内容及び、中心市街地エリアでの統一的表现を行うことを踏まえ、次頁に示す施設等を広域案内サイン及び周辺案内サインの掲載基準とします。ただし、情報量による地図面の煩雑さを踏まえて、掲載の可否を決定します。
- ・駅周辺など多くの来訪者が予想される場所においては、観光案内の手助けとなるQRコード等の掲載を検討します。（本市が総合的な観光案内として活用しているものが対象）ただし、案内図の地図面に関連する情報を優先して表示します。

■広域案内サイン（縮尺：1/2,500～3,500）地図面に表記する建物名称等の掲載基準

		名称等の表示の掲載基準
行政区分	市名	行政区分の名称, 町丁
	丁名	
鉄道 道路 河川	路線名	・名称
	高速道路名	・名称, IC名称
	道路名	・道路名称(複数ある場合は認知度の高い通称名等にす。) ※国道及び県道についてはマークを採用
	交差点名	・表示しない
	河川名	・移動の手掛かりとなる橋やデッキ等の名称
交通施設	駅名	・駅名称
	バス停名	・バスターミナル(※タクシー乗り場はピクト表示のみ)
公共施設 ・ 公益施設	庁舎・出先機関	・全て
	警察署, 交番	・警察署は名称を表示し, 派出所・交番は表示しない
	消防署	・消防署は名称を表示し, 出張所は表示しない
	郵便局	・集配機能のある局は名称表示し, その他については表示しない
	国の機関, 公共地方サービス機関	・全て
	病院	・緊急医療救護所を設置する9つの病院 ・調布市医療ステーション(小島町歯科診療所, 休日夜間急患診療所) ※サイン地図面の掲載範囲内または周辺にある場合のみ掲載
	学校	・小学校・中学校・高等学校・大学・短期大学等
	幼稚園, 保育園	・表示しない
	福祉施設	・公共の主要な福祉施設(設置主体が「市」である施設)(※小規模な作業所等は表示しない)
	体育館, 運動場	・全て(※小規模なものは除く)
	団地・集合住宅	・行動の手掛かりとなる大規模なもの(総戸数50戸以上)
	駐車場	・表示しない
	駐輪場	・表示しない
	その他	・主要な公共的施設(※小規模なものは表示しない) ・NTT, ガス, 電力会社などの本支店
文化施設	公会堂	・公共は全て
	公民館	・公共は全て(※小規模なものは除く)
	図書館	・公共は全て
	公園	・街区公園より大規模な公園の名称とピクトグラムを表示 ※児童遊園, 仲良し広場は表示しない。
	植物園	・公共は全て/その他は観光マップに掲載されているもの
	美術館, 博物館, 劇場	・公共は全て/その他は観光マップに掲載されているもの
	その他	・観光マップに掲載されている文化的な施設
公衆便所	公衆便所	・表示しない
名所 ・旧跡	神社, 仏閣, 寺院, 教会	・観光マップに掲載されているもの
	史跡	・国又は自治体が指定している文化財・史跡名勝 ※寺社仏閣や碑など(書物等は除く)
宿泊施設	ホテル, 旅館	・表示しない
商業施設	百貨店, スーパー	・表示しない
店舗	銀行	・表示しない
公共設備	エレベーター, エスカレーター, 階段	・表示しない
その他	バリアフリー経路	・表示しない
	ランドマーク施設等	・道路の結節点に位置し, 地点を確認するのに有効と考えられる施設 ・広範囲に渡って, 視認可能な高さを有する施設
	避難場所等	・広域避難場所及び避難所

■周辺案内サイン（1/1,000）の地図面への建物名称等の掲載基準

掲載する項目		名称等の表示の掲載基準
行政区分	市名	・行政区分の名称, 町丁, 地番
	丁名	
鉄道 道路 河川	路線名	・名称
	高速道路名	・名称, IC名称
	道路名	・道路名称(複数ある場合は認知度の高い通称名等にする。) ※国道及び県道についてはマークを採用
	交差点名	・主要な交差点名称
	河川名	・移動の手掛かりとなる橋やデッキ等の名称
交通施設	駅名	・駅名称
	バス停名	・バスターミナル, バス停※タクシー乗り場はピクト表示のみ
公共施設 ・ 公益施設	庁舎・出先機関	・全て
	警察署, 交番	・警察署は名称を表示し, 派出所・交番はピクトによる表示
	消防署	・消防署及び出張所は名称を表示
	郵便局	・集配機能のある局は名称表示し, その他についてはピクト表示のみ
	国の機関, 公共地方サービス機関	・全て
	病院	・緊急医療救護所を設置する9つの病院 ・調布市医療ステーション(小島町歯科診療所, 休日夜間急患診療所) ※案内サイン地図面の掲載範囲周辺にある場合のみ掲載
	学校	・小学校・中学校・高等学校・大学・短期大学等
	福祉施設	・公共の福祉施設(設置主体が「市」である施設)
	体育館, 運動場	・全て
	団地・集合住宅	・公共的なもの及び行動の手掛かりとなる大規模なもの
	駐車場	・公共は全て(※小規模なものは除く)
	駐輪場	・ピクトのみ表示(※一時利用が可能な場合はその有無を表示)
	その他	・主要な公共的施設 ・NTT, ガス, 電力会社などの本支店
文化施設	公会堂	・公共は全て
	公民館	・公共は全て
	図書館	・公共は全て
	公園	・街区公園より大規模な公園のみ名称とピクトグラムを表示 ・その他は, ピクトグラムのみ表示。
	植物園	・公共は全て/その他は観光マップに掲載されているもの
	美術館, 博物館, 劇場	・公共は全て/その他は観光マップに掲載されているもの
	その他	・観光マップに掲載されている文化的な施設
公衆便所	公衆便所	・ピクト表示のみ※ただし, 時間制限があるものは使用時間制限表記
名所 ・旧跡	神社, 仏閣, 寺院, 教会	・観光マップに掲載されているもの
	史跡	・国又は自治体が指定している文化財・史跡名勝 ※寺社仏閣や碑など(書物等は除く)
宿泊施設	ホテル, 旅館	・調布市観光協会 HP に掲載されている施設または大規模なもの
商業施設	百貨店, スーパー等	・利用者も多くランドマーク性が高い大規模な小売店舗(1,000㎡以上) ※24h 営業のコンビニエンスストアを必要に応じてピクト表示
店舗	銀行	・ピクトによる表示のみ(海外発行カード対応 ATM がある場合は必要に応じて追加でピクトを表示)
公共設備	エレベーター, エスカレーター, 階段	・道路上及び公共交通機関出入口等にピクト表示
その他	ランドマーク施設等	・道路の結節点に位置し, 地点を確認するのに有効と考えられる施設 ・広範囲に渡って, 視認可能な高さを有する施設
	避難場所等	・広域避難場所及び避難所

- ・案内図の地図面のデザインについては、次の色彩を参考に視認性や判読性を確保した色彩を使用します。

区分	施設名	色彩例	色 (Pantone No.) (参考)		
			仕様	CMYK値	
緑地	森		Pantone:376C 枠線無し	60-0-100-0 -	
	公園・緑地		Pantone:390C 枠線無し	40-0-100-0 -	
	緑道		Pantone:5865C 枠線無し	0-0-30-10 -	
	水域 湖、池、河川		Pantone:292C 枠線無し	50-10-0-0 -	
施設	敷地		Pantone:467C Proces Black 0.1mm	10-20-40-0 0-0-0-100	
	名称表記 一般施設		Pantone:Warm Gray 1C 枠線無し	0-0-0-10 -	
	名称表記 大規模競技場		Pantone:Warm Gray 1C Proces Black 0.2mm	0-0-0-10 0-0-0-100	
	駅舎 高架等		Pantone:Warm Gray 1C Proces Black 0.2mm	0-0-0-10 0-0-0-100	
	地下街		Pantone:420C Cool Gray 10C 0.2mm	0-0-0-25 0-0-0-72	
	歩道橋・ ペDESTリアンデッキ		Pantone:Warm Gray 1C Proces Black 0.2mm	0-0-0-10 0-0-0-100	
	道路	高速道路等		Pantone:Warm Gray 4C Proces Black 0.2mm	30-30-30-0 0-0-0-100
		モール・歩行 者専用道路等		Pantone:121C 枠線無し	0-10-70-0 -
鉄軌道	鉄道軌道		Pantone:Cool Gray 9C 3.0mm	0-0-0-65	
	地下鉄軌道 (トンネル部)		Pantone:Cool Gray 9C 3.0mm 破線	0-0-0-65	
	バス路線		Pantone:Red 032C 0.35mm	0-100-100-0	

区分	施設名	色彩例	色 (Pantone No.) (参考)	
			仕様	CMYK値
バリアフリー 経路	バリアフリー 経路		Pantone:Red 032C 3.0mm 破線	0-100-100-0
境界線	市境界線		Pantone:Cool Gray 8C 2.0mm 一点鎖線	0-0-0-55
	町境界線		Pantone:Cool Gray 8C 1.0mm 破線	0-0-0-55
	丁目境界線		Pantone:Cool Gray 8C 1.0mm 点線	0-0-0-55
現在地	現在地表示		Pantone:Red 032C 枠線無し	0-100-100-0 -

安全色青		100-60-10-0
安全色緑		100-20-70-0
安全色黄		0-20-90-0
横断歩道		0-0-0-40
住所等グレー文字		0-0-0-65
歩道橋階段		0-0-0-55

※「地図を用いた道路案内標識ガイドラインブック」より作成

### ③レイアウト

- ・表示面のレイアウトについては、タイトル、案内図、インフォメーションマーク、凡例、現在地、及び市章を視認しやすいよう、次のとおり配置します。

表面	案内図を中心にタイトルは上端、凡例及び現在地は右側又は下端へ配置
裏面	タイトル、現在地を表示。設置場所の通りに道路通称名等がある場合は表示面の中央に表示

※裏面については、設置状況及び設置基数を踏まえ、視認性の確保や景観的な配慮を検証するものとする。

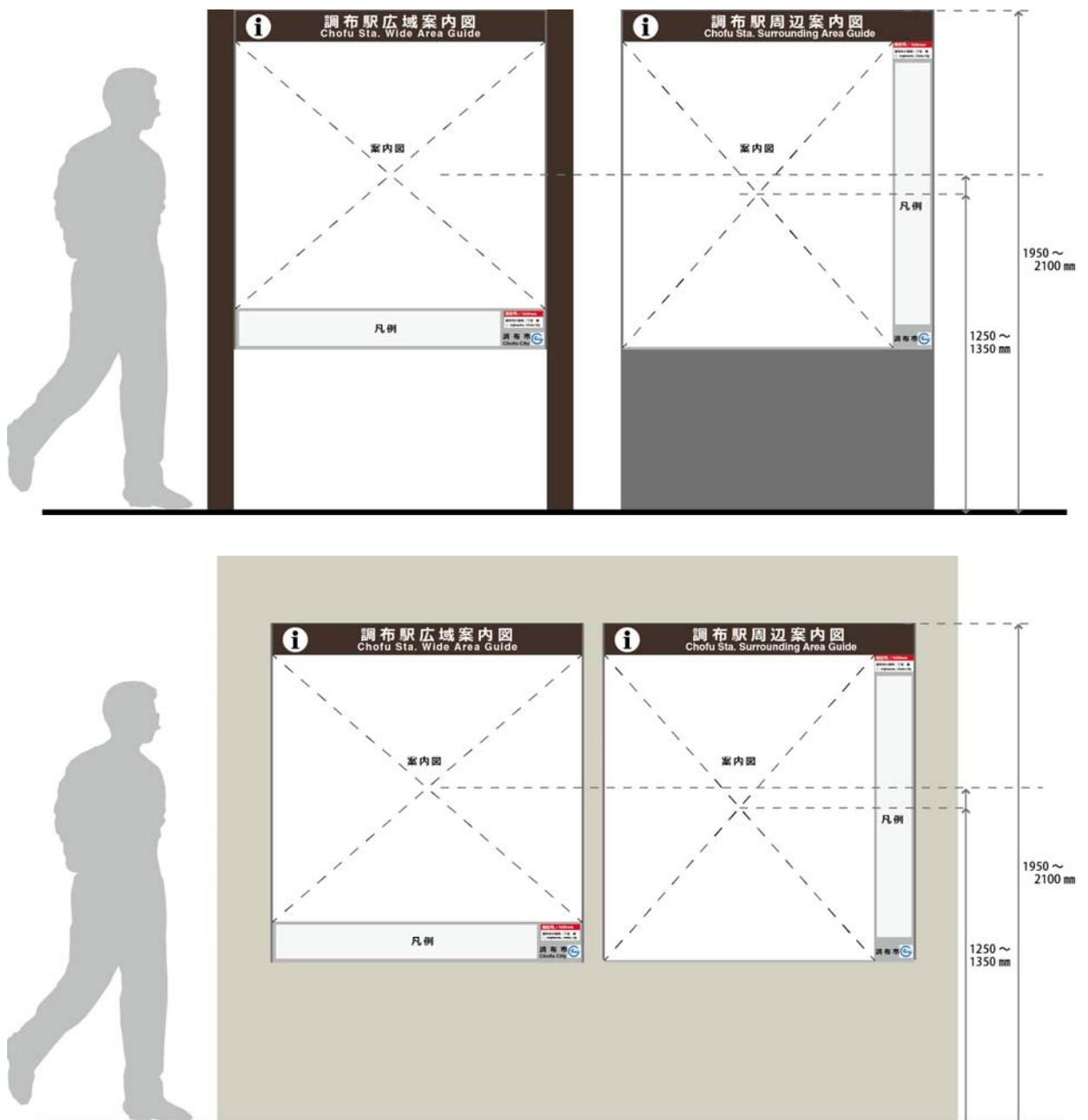
#### ■表示面のレイアウト (左・中央：表面 / 右：裏面)



#### ④形状

- ・案内サインは原則，独立型とします。ただし，駅前広場など利用者の多い場所では，歩行者動線も考慮し，状況に応じて壁付け型の選択可能とします。
- ・総合案内サインなどで一体的に整備する場合は，その他のサインとのデザイン，素材感等の統一を図ります。
- ・賑わいのなかにも落ち着きを感じられる中心市街地エリアの景観形成を目指して，中心市街地デザインコンセプトに基づいて整備された駅前広場空間との統一感を意識した過度に装飾のないシンプルなデザインとします。
- ・素材については，美観的に維持しやすく，耐久性，耐候性に優れた素材とし，必要に応じて，防錆，はり紙及び落書き防止等の表面処理を行います。

#### ■案内サインの全体形状イメージ（上段：自立型／下段：壁付け型）



■誘導サインとの併設置イメージ

《誘導+広域案内+周辺案内+誘導（立板）》



《誘導+広域案内+周辺案内+誘導（壁付け）》



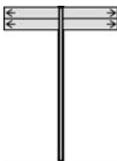
《総合案内板（広域案内+周辺案内+誘導）（集約型）》



## 2. 誘導サイン

### ①誘導サインの種類

- ・道路の状況や誘導施設数に応じて、立板タイプと羽板タイプを採用します。

種類	特徴	主な設置場所
<p>立板タイプ (壁付け型含む)</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・表示面が大きいことから、誘導すべき施設が多い、多方面への施設誘導が必要な場所での使用が可能です。</li> <li>・案内サインと連携して掲出することが可能で、デザイン等の統一が図りやすくなっています。(表示面の状況によっては地図情報の掲載も可能)</li> <li>・既存の壁等を活用できるため、道路上に設置スペースがない、通行量が多くて道路上への設置が難しい場所でも設置が可能になります。(壁や道路付属物等に添加するため、それぞれの管理者への許可が必要)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・駅等の交通拠点</li> <li>・主要な通りや交差点等</li> <li>・上記の設置場所において、道路上への設置が困難な場所(壁付け)</li> </ul>
<p>羽板タイプ</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一定の距離があっても、視認性や判読性の確保が容易で表示板の向きで方向指示をすることが可能なため、視覚的な誘導が行いやすくなっています。</li> <li>・複数の方面に設置の際は、支柱から一定程度の空間の確保が必要になります。</li> <li>・目的地ごとに表示が必要なため、誘導可能な施設の数に限られます。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・主要な交差点や通りの中間点</li> <li>・施設周辺の誘導地点</li> </ul>

### ②掲載する情報と内容

- ・誘導対象とする目的地(誘導施設等)については、「1-2 表示内容の基本ルール/調布市公共サイン整備ガイドライン(P9)」の内容及び、市民及び来訪者の利用目的等を踏まえ、各駅周辺地区の次頁に示す施設等を誘導候補施設として設定しました。

※ただし、調布駅前広場の整備に伴う公共施設の施設利用等の状況(機能移転、施設利用停止、統合など)と「2. 整備期間」の内容を踏まえ、対応するものとします。

■調布駅周辺地区／誘導候補施設名称

施設分類	誘導候補施設	
	日本語表記	英語表記
庁舎・出先機関	調布市役所	Chofu City Hall
	調布市教育会館	Chofu City Educational Hall
文化施設	グリーンホール	Chofu Green Hall
	文化会館たづくり	Chofu City Culture Hall Tazukuri
駅舎	調布駅	Chofu Station
福祉施設	調布市総合福祉センター	Chofu City General Welfare Center
名所・旧跡	布多天神社	Fuda-Tenjisha Shrine
	大正寺	Taishoji Temple
病院	調布東山病院	Chofu Touzan Hospital
	飯野病院	Iino Hospital
教育機関	電気通信大学	The University of Electro-Communications
その他	調布市商工会	Chofu City Society of Commerce and Industr
通り名	甲州街道	Koshu-kaido Ave.
	旧甲州街道	Kyu-Koshu-kaido Ave.
	品川通り	Shinagawa-dori Ave.

※調布駅前広場の整備に伴う公共施設の施設利用等の状況（機能移転，施設利用停止，統合など）と「2. 整備期間」の内容を踏まえ，対応するものとする。

※駅前広場等の行動起点（調布駅前）での誘導では，上記以外の施設で下記に該当する施設においては誘導サインへの表記を可能とする。ただし，表示面の大きさを考慮するとともに，上記施設を優先して表示するものとする。

- ①上記施設の他に南北方向を示す場所等を表記する  
（例：北側→三鷹・深大寺方面 / 南側：多摩川方面 等）
- ②拠点となる観光施設（深大寺等）を表記する。
- ③駅周辺利用者への避難誘導の手助けとなる避難関連施設を表記する。ただし，当該施設の災害時等の避難誘導システムの確立及び行動起点から当該施設までの誘導がなされている場合のみ対象とします。

### ③レイアウト

- ・表示面のレイアウトについては、タイプ別に次のように配置します。

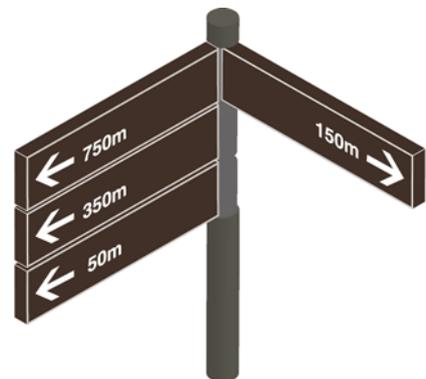
#### 《立板タイプ（壁付け型含む）》

- ・矢印を先頭に、距離、目的地、ピクトグラムの順に表示します。必要に応じて下段に案内図及び施設情報を掲載します。
- ・目的地については、上段に和文、下段に英文表示を基本とします。
- ・目的地が複合施設の場合は、まとまりのあるわかりやすい表示を行います。
- ・複合的な施設を表示する場合は、代表的な施設名称を上部に掲載し、それ以外の施設については、文字の大きさを一段小さく表示する。また、一段小さく表示した施設は右方向の目的地の場合においても、代表的な施設から一段下げた状態で左寄せ表示とする。
- ・方向については「前方」「左方向」「右方向」の順に表示し、距離は遠い施設から順に示します。
- ・視認性を確保するため、下段部分（路面から50cm以下）に目的地を表示しません。
- ・タイトルで、横長の表記となる場合は、和文と英文を1列に並べて表示します。
- ・裏面については、設置状況に応じて現在地（道路名がある場合は道路通称名を併記）及び管理者情報を表示します。



#### 《羽板タイプ》

- ・矢印・距離・目的地及びピクトグラムの順に表示し、目的地については上段に和文、下段に英文を表示します。
- ・「右方向」の目的地については、右寄せで表示し、それ以外の方向については左寄せとします。
- ・支柱部分などの見やすい箇所に、現在地及び管理者情報を表示します。
- ・見通しのよい場所など設置場所の状況に応じて、両面表示を行います。



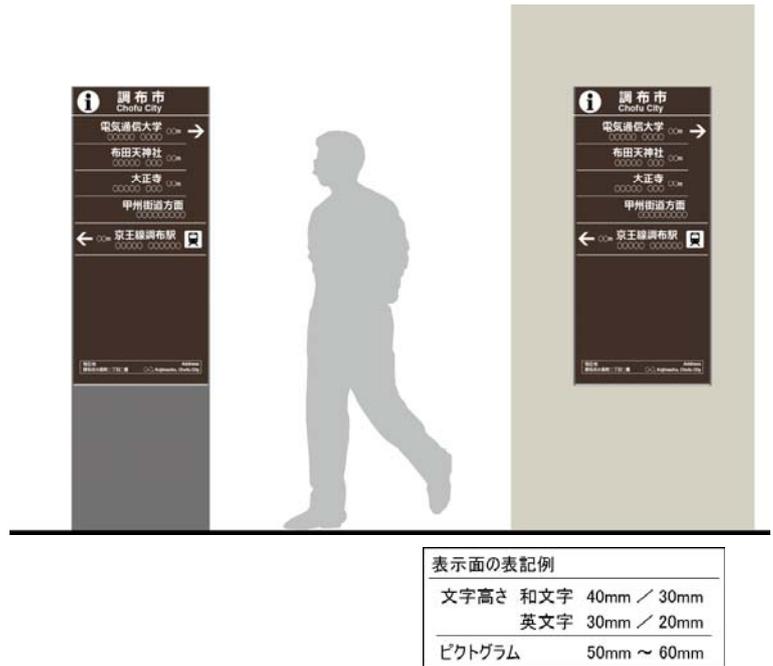
※方向ごとに距離の遠い目的地から順に設置

#### ④形状

- ・一体的に整備される案内サインのデザイン、素材感等の統一を図ります。
- ・賑わいのなかにも落ち着きを感じられる中心市街地エリアの景観形成を目指して、中心市街地デザインコンセプトに基づいて整備された駅前広場空間との統一感を意識した過度に装飾のないシンプルなデザインとします。
- ・素材については、美観的に維持しやすく、耐久性、耐候性に優れた素材とし、必要に応じて、防錆、はり紙及び落書き防止等の表面処理を行います。

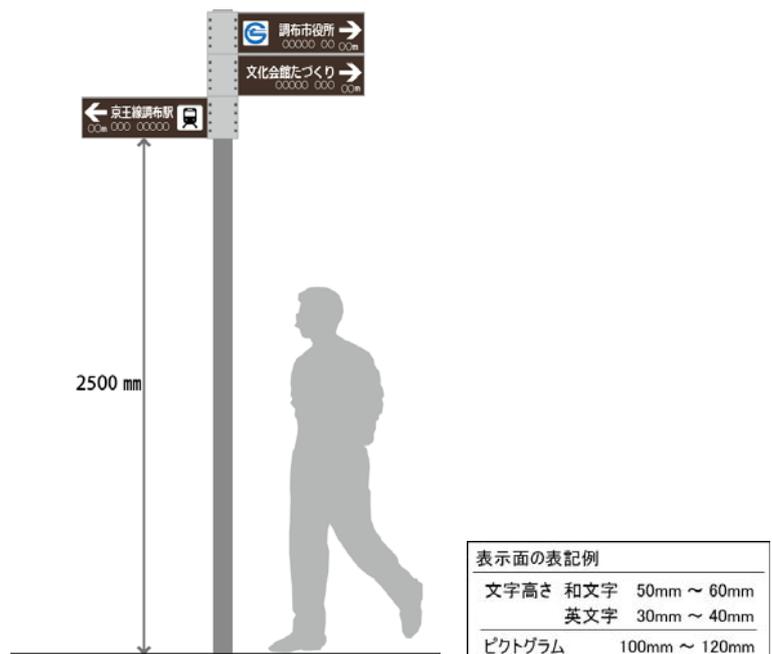
#### 《立板タイプ（壁付けを含む）》

- ・原則、独立型とし、設置場所の状況に応じて壁付け型を活用します。
- ・原則、設置高さについては、最高地上高さ2000mm程度とします。ただし、壁付けの場合は、現況に序共に応じて対応します。
- ・案内サイン等と併設する場合は、設置高さを揃えます。
- ・原則、表面のみ活用します。裏面については、設置場所の状況も踏まえ、位置情報等（道路通称名や現在地など）を表示します。



#### 《羽板タイプ》

- ・原則、独立型とします。
- ・掲出高さについては、羽板の下端から路面までを2500mm以上の高さを確保します。
- ・複数の羽板を掲出する場合は、各方向の枚数差が生じないようにバランスを考慮して設置の向きを決定します。その際は、設置枚数1方向につき3枚とします。
- ・設置するスペースが少ない場所においては、表示板をプレートとして製作し、各施設の壁面、塀等への設置を検討します。



## 第5章 配置計画

### 1. 配置の考え方

- ・調布駅を行動起点とし、駅前広場に案内サインを設置します。ただし、複数の出入口があることから、歩行者導線及び利用目的を考慮した位置に適正な基数を配置します。
- ・行政機能が集約された市役所周辺に、案内サインを設置します。
- ・目的地となる誘導対象施設までの道路状況及びユニバーサルデザインの視点に配慮した誘導ルートを設定し、ルート上の分岐点での道路状況及び誘導施設数を踏まえて設置する誘導サインのタイプを採用します。
- ・各施設の誘導ルート上で分岐点に「誘導」の単独サインを設置します。また、直線が長い場合については、中間地点にも随時設置します。

### 2. 配置計画

- ・上記の「1. 配置の考え方」を踏まえ、行動起点から目的地までの誘導ルート及び各種サインの配置計画と同時に、2019RWC及び東京2020大会、調布駅前広場の整備状況等を踏まえた第1期整備を次のとおり設定します。

#### ■設置場所別のサインタイプ

第1期 整備	設置 場所	案内サイン		誘導サイン		基数計	誘導 施設数	誘導方向数
		タイプ	基数	タイプ	基数			
○	①a	立板壁①	2	立板壁②	2	4	14	北5/南西7/南1/西1
○	①b	複合壁②	1			1	14	北5/南西7/南1/西1
	②	複合①	1	-	-	1	14	北5/南西7/南1/西1
	③	立板壁①	1	-	-	1	-	
	④	複合①	1	-	-	1	9	北3/北東2/北西1/南西2/南1
	⑤	-	-	立板③	1	1	5	北4/南1
	⑥	-	-	羽板①	1	1	4	南1/西1/東2
	⑦	-	-	羽板②	1	1	2	北1/西1
	⑧	-	-	羽板②	1	1	2	西1/東1
	⑨	-	-	立板②	1	1	6	北1/南2/西4
○	⑩	-	-	立板②	1	1	8	北1/南5/西1/東1
○	⑪	-	-	立板②	1	1	10	北3/北東2/北西1/南西3/南1

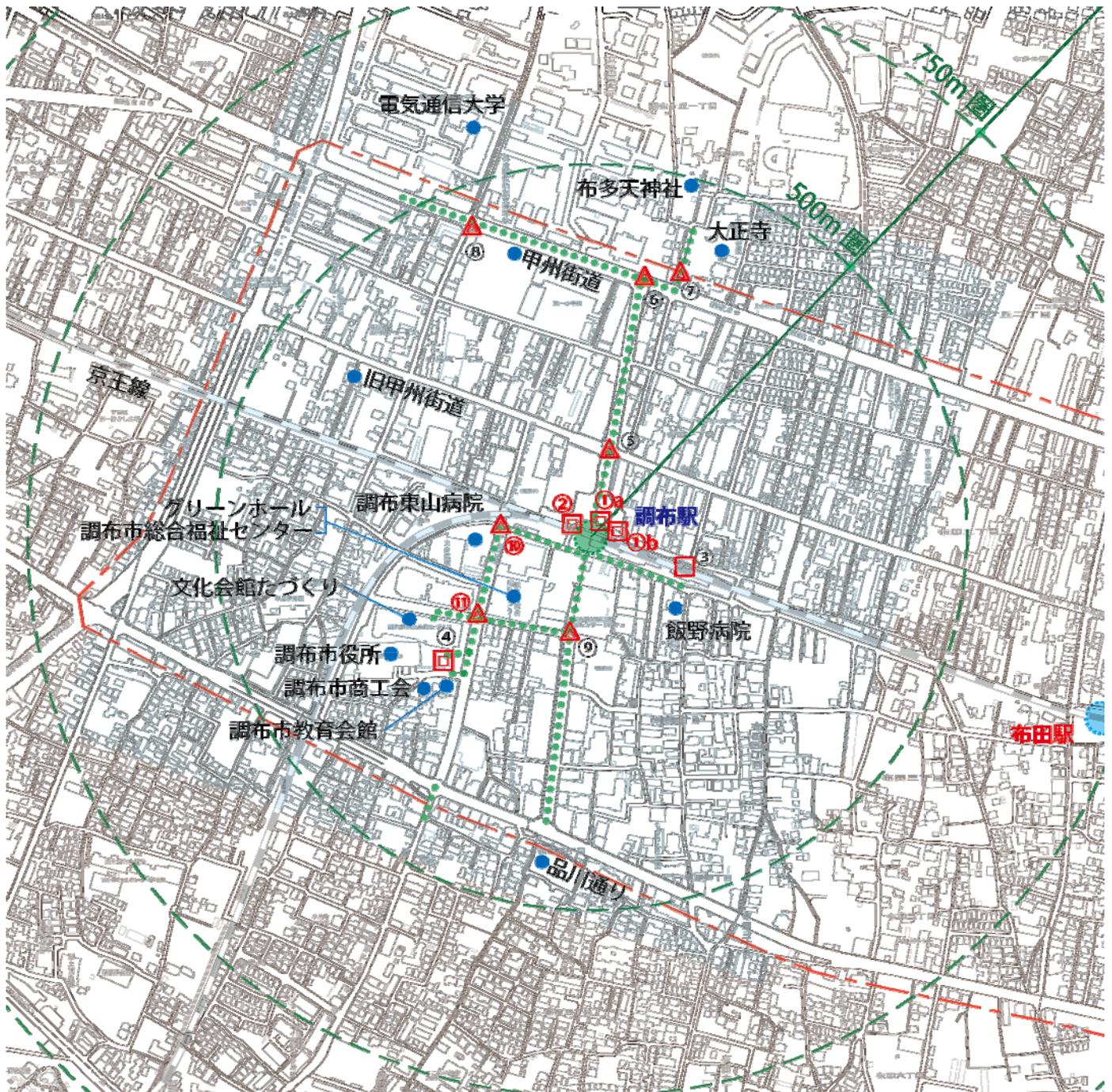
※各サインのタイプについては「参考：各種サインデザイン」を参照

※国（国道20号/甲州街道）及び東京都（都道119号/旧甲州街道）の管理する道路上への設置については調整が必要

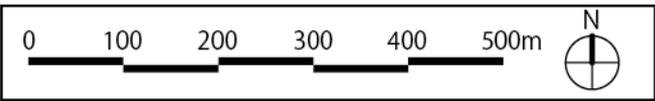
■誘導対象施設一覧

	分類	名称	① a	① b	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	
北側	名所・旧跡	布多天神社	○	○	○	-	-	○	○	○	-	-	-	-	
		大正寺	○	○	○	-	-	○	○	-	-	-	-	-	
	教育機関	電気通信大学	○	○	○	-	-	○	○	-	○	-	-	-	
	通り名	甲州街道	○	○	○	-	-	○	-	-	-	-	-	-	
		旧甲州街道	○	○	○	-	○	-	-	-	-	-	○	○	
南側	庁舎 ・出先機関	調布市役所	○	○	○	-	-	-	-	-	-	○	○	○	
		調布市教育会館	○	○	○	-	○	-	-	-	-	○	○	○	
	文化施設	グリーンホール	○	○	○	-	○	-	-	-	-	-	-	○	
		文化会館たづくり	○	○	○	-	○	-	-	-	-	○	○	○	
	福祉施設	調布市総合福祉センター	○	○	○	-	○	-	-	-	-	-	-	○	
	病院	調布東山病院	○	○	○	-	○	-	-	-	-	-	-	○	○
		飯野病院	○	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	その他	調布市商工会	○	○	○	-	○	-	-	-	-	○	○	○	
通り名	品川通り	○	○	○	-	○	-	-	-	-	○	○	○		
中央	駅名	調布駅	-	-	-	-	○	○	○	○	○	○	○		

■公共サインの配置・誘導ルート図／案内図の掲載範囲

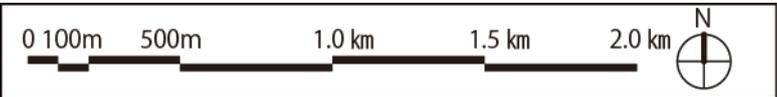
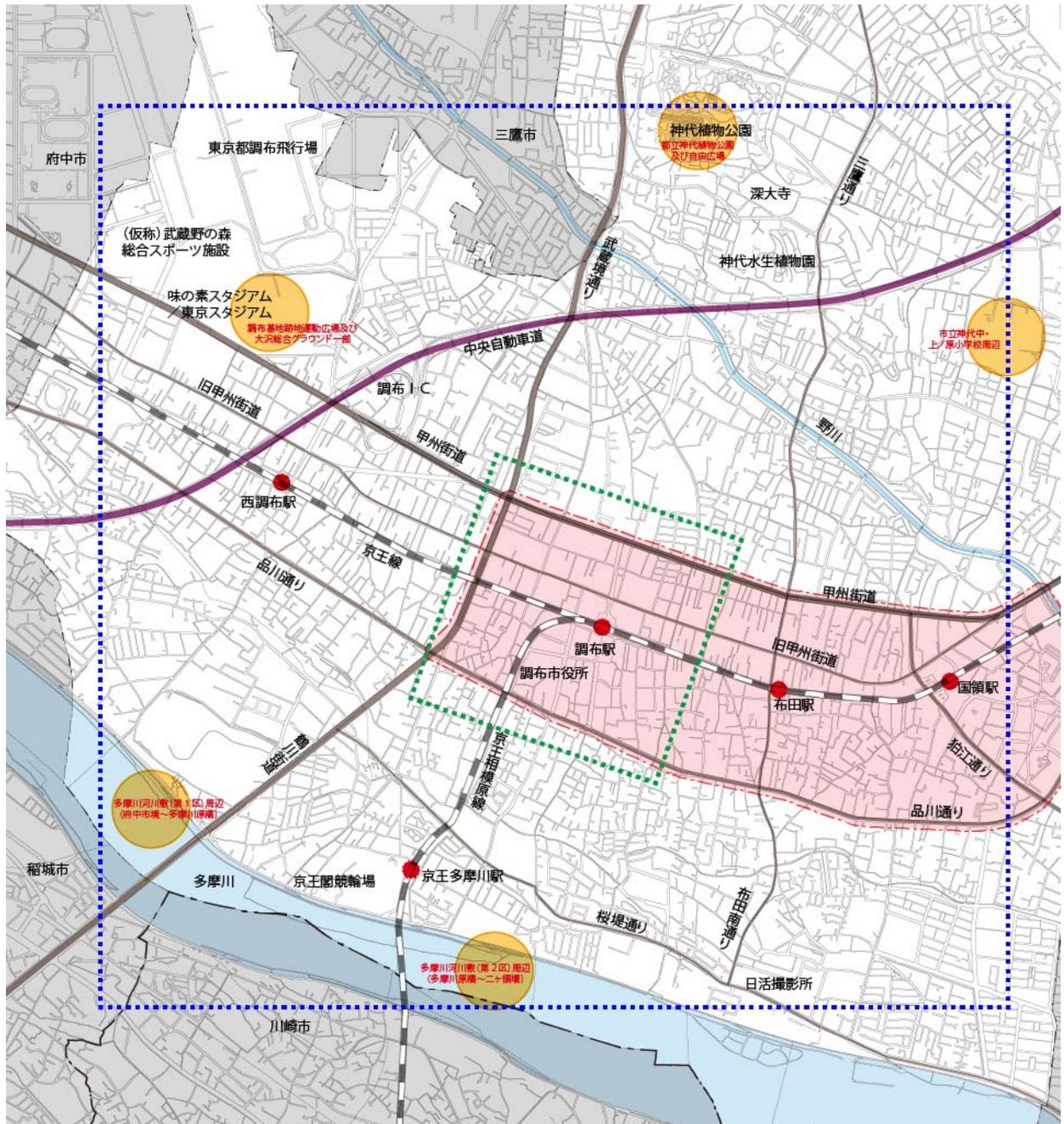


凡 例	
● 誘導対象	..... 誘導ルート
■ 案内図掲載範囲	- - - 中心市街地
□ 案内+誘導サイン	□ 案内サイン
△ 誘導サイン	
※設置番号が赤字にもものが第1期整備予定のサイン	



※「この地形図は、ミッドマップ東京の東京都縮尺 1/2,500 地形図 (平成 27 年度版) を使用して作成したものです (承認番号: M MT 利許第 27052 号-89)。無断複製を禁じます。」  
 ※鉄道敷地については、今後の整備状況により対応を検討していきます。

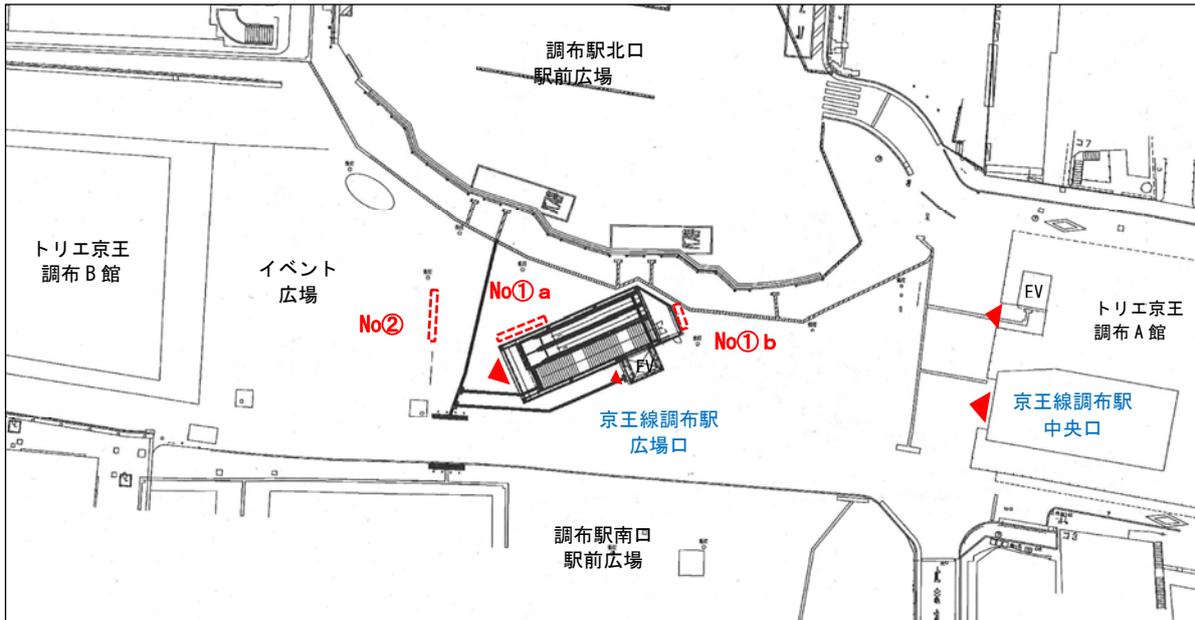
■案内図の掲載範囲イメージ（広域案内図：1/3,500 周辺案内図：1/1,000）



凡 例			
	広域案内図掲載範囲		周辺案内図掲載範囲
	中心市街地		広域避難場所

※「この地形図は、ミッドマップ東京の東京都縮尺1/2,500地形図（平成27年度版）を使用して作成したものです（承認番号：MMT利許第27052号-89）。無断複製を禁じます。」

■調布駅前広場の設置場所



■調布駅前広場等設置場所別サインイメージ

NO 1 a : 京王線調布駅広場口上屋北側壁面 (左 : 現状 / 右 : 設置イメージ)



NO 1 b : 京王線調布駅広場口上屋東側壁面 (左 : 現状 / 右 : 設置イメージ)



NO2：京王線調布駅広場口出口前（左：現状／右：設置イメージ）

○広場口からトリエ京王B館方面



○広場口からパルコ方面



NO10 : 調布サウスゲートビル西側 (左 : 現状 / 右 : 設置イメージ)



NO11 : 文化会館たづくり東側 (左 : 現状 / 右 : 設置イメージ)



## 第6章 今後に向けて

### 1. 整備の進め方

- ・第1期整備は、調布駅前広場整備の進捗状況を踏まえ、第2期の公共サイン整備計画の検討を進めます。
- ・第2期整備については、駅前広場とあわせて、道路敷きの活用も踏まえて検討し、誘導対象施設及び表示面の更新、サインの色彩等を含めて検討を行います。

## ■参考資料

「第1期整備計画（調布駅編）」の作成において、次の資料を参考にしています。

- ①調布市公共サイン整備ガイドライン  
（調布市 平成27年3月）
- ②調布市中心市街地公共サイン整備計画（布田駅・国領駅編）  
（調布市 平成27年3月）
- ③公共交通機関の旅客施設に関する移動円滑化整備ガイドライン  
（交通エコロジー・モビリティ財団 平成19年7月）
- ④改訂版 道路の移動円滑化整備ガイドライン  
（財団法人国土技術研究センター 平成23年8月）
- ⑤地図を用いた道路標識ガイドブック  
（財団法人 道路保全技術センター 平成15年11月）
- ⑥観光立国実現に向けた多言語対応の改善・強化のためのガイドライン  
（国土交通省 観光庁 平成26年3月）
- ⑦国内旅行者のためのわかりやすい案内サイン標準化指針  
（東京都 平成27年2月）

登録番号  
(刊行物番号)

2017-288

---

### 調布市中心市街地公共サイン整備計画（調布駅編）第1期

---

発行日：平成30年3月

発行：調布市

編集：都市整備部 都市計画課

〒182-8511 調布市小島町 2-35-1

Tel 042-481-7746

※無断での転載，複製を禁じます

